

千葉市感染症発生動向調査情報

2022年 第33週 (8/15-8/21) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数	33週	32週	31週	30週
小児科	18	12	18	18
眼科	5	2	5	5
インフルエンザ*	28	16	28	28
基幹定点	1	1	1	1

上段: 患者数

下段: 定点当たりの患者数

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数

定点	感染症名	千葉市				千葉県	
		注意報	8/15-8/21	8/8-8/14	8/1-8/7	7/25-7/31	8/8-8/14
			33週	32週	31週	30週	32週
小児科	RSウイルス感染症		8	11	33	21	237
	咽頭結膜熱		0	2	1	0	4
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	2	2	3	13
	感染性胃腸炎	↓	41	29	46	66	135
	水痘		0	1	1	4	4
	手足口病	★↓↓↓	86	117	198	170	518
	伝染性紅斑		0	0	0	0	1
	突発性発しん		6	4	8	10	25
	ヘルパンギーナ		3	16	15	11	80
	流行性耳下腺炎		0	0	0	1	1
インフル	インフルエンザ (高病原性鳥インフルエンザを除く)		0	0	0	0	4
眼科	急性出血性結膜炎		0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎		0	1	0	0	3
基幹定点	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	0
	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	0
	マイコプラズマ肺炎		0	0	0	0	0
	無菌性髄膜炎		0	0	0	0	0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	0	0	0	0

★★: 流行中 ★: やや流行中 ◎: 増加 ○: やや増加 →: 変化なし ↓: やや減少 ↓↓: 減少

2 全数報告対象疾患: 7,830 例

※ 新型コロナウイルス感染症7,826例は数のみ

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	女性	40歳代	病原体遺伝子の検出	梅毒	男性	20歳代	血清抗体の検出
	男性	70歳代	IGRA検査等		男性	40歳代	
-	-	-	-	新型コロナウイルス感染症	男女	0歳代-100歳代	病原体遺伝子の検出等

* 第33週は、結核2例(97)、梅毒2例(26)、新型コロナウイルス感染症7,826例(118,942)の発生届があった。

※ ()内は2022年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第33週のコメント

<感染性胃腸炎>

前週よりやや減少し2.28となった。過去10年の同時期と比べると少なめ。2歳で最多。区別の発生状況は若葉区(5.50)で最多で、同区の6-11か月及び1歳で多く発生報告があった。

<手足口病>

前週より減少し4.78となり、流行発生警報開始基準値(5.00。以下「警報レベル」という)を下回ったが、流行発生警報終息基準値(2.00。以下「終息レベル」という)は上回っている。過去10年の同時期と比べると多め。1歳で最多。区別の発生状況は、若葉区(9.50)で最多。他に中央区(6.67)で警報レベルを上回っており、稲毛区(5.00)で警報レベルと並んだ。緑区(4.50)、花見川区(2.50)及び美浜区(2.25)で終息レベルを上回っている。中央区、花見川区、稲毛区及び若葉区では1歳、緑区及び美浜区では2歳で最も多く発生報告があった。

■ 「過去10年との比較グラフ」及び「区別の発生グラフ」はWebSiteでご覧いただけます。

- ・ 過去10年との比較グラフ

<https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph2022.pdf>

- ・ 区別の発生グラフ

https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph_ward2022.pdf